



南武 代表取締役
野村 和史

不幸中の幸いか。

先週ある大学の工学部

で私の経営談義を講演し

て欲しいとの事。その大

学から卒業生を新卒社員

としてかなり戴いている

のあまり気が進まなか

つたが引き受けた。気が

進まない理由は講演は一

時間半。養老益司、藤原正彦両先

生の著書にある様に今の学生は講

製造業に関して言えば現在は閉塞感に満ちみちていると

思う。全てとは言わないが大田区

の製造業を生業としている所の業績はよくない。石油は当然のこと、

鉄、非鉄金属は高騰し、周りを見渡して上がっていないものはない。

自動車も国内では二十八カ月間連続して売上は下がり続けていると言ったし、日銀短観でも大企業ですら3・四半期連続してDI（景況判断指数）のマイナス幅は下落し続けている。我々のお得意様である金型屋さんは皆仕事は少なくヒーヒー言つてゐる。

当社においては経営方針として「年に一つ特許が取れる新技术、新製品を作る」と言うのがあるがそれは継続できていると言うのが

3) 私の声がでかいのでうるさくて寝ている暇が無かつた。

話は戻るが、過日外務省へくる

ようとの要請がロシア訪問団を

偉い様に申し上げたい。私、二代目経営者であるが、先代が残した

社是は「技術を以つて社会に奉仕

せよ」である。

その為、どう言う訳か外務省

（JICAも含む）の紹介で諸外

国、特に最近は旧ソ連からの、名前をあまり聞かない国の方々が見

前をあらかじめ見

学にこられる。

理由はハイテクの中小製造業を

見学したいとの事である。そして

私も技術英語も含め英語は多少話

せる。列挙するとロシアは二回に亘り延べ四十数名、先週はマケドニア、ボスニアヘルツェゴビナ、

先月は米国（UCLAを含む教

授）／仏、ローラリークラブ／そ

れ以前はウクライナ、モルドバ／独商工会議所／北米技術ミッショ

ン／インド／オーストリア／ベトナム／ファンバンカン首相／エジ

プト／中国（三～四回）／韓国通

産大臣／アフリカ各国。

の中に入れない。

話は戻るが、過日外務省へくる

ようとの要請がロシア訪問団を

世話をしているトランペーンエン

トを通してあつたので、これだけお国のために協力しているので多

分おほめにあずかるものと喜び勇んで行つた。ところが、外務省と

しては「定業者を特定する」ということはとくく癪着につながるとい

う懸念から入札のための面接で

あった。それを業者から聞いてな

かつたので私としては憤慨せざるを得なかつた。

当社では遠い外国からわざわざ見学に来た人に好感をもつて帰つて貰いたいが故にテーブルに国旗

や生花を飾り、アメリカ人にはビール、ロシア人にはウォッカなど

の飲み物を用意し其の他粗品（お土産）などを差し上げ、大変な時

間と労力を提供し、少しでもお國のためになるよう努力してきたつ

もりだ。

現在この苦境の中で國を思ひ一

生懸命努力している中小企業に、せめてもう少しのいたわりとご配慮を戴きたい。

当社の取引の事情があるため列举